

本資料のうち枠囲みの内容は、
機密事項に属しますので公開
できません。

柏崎刈羽原子力発電所第6号機 設計及び工事計画審査資料	
資料番号	KK6 添-1-032 (比較表) 改0
提出年月日	2023年11月14日

先行審査プラントの記載との比較表
(VI-1-1-12 安全避難通路に関する説明書)

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所第6号機


先行審査プラントの記載との比較表（VI-1-1-12 安全避難通路に関する説明書）

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	<p>1. 概要 本資料は、「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」（以下「技術基準規則」という。）第13条第1項第1号に基づき、その位置を明確かつ恒久的に表示することにより容易に識別できる安全避難通路（<u>「7号機設備」</u>、<u>「6,7号機共用, 6号機に設置」</u>、<u>「6,7号機共用, 5号機に設置」</u>（以下同じ。））を設置することについて説明するものである。</p> <p>2. 基本方針 災害時に、原子炉施設内従事者等が使用する部屋及び区画から屋外への安全な避難のため、その位置を明確かつ恒久的に表示することにより容易に識別できるよう非常灯（<u>「7号機設備」</u>、<u>「6,7号機共用, 6号機に設置」</u>、<u>「6,7号機共用, 5号機に設置」</u>（以下同じ。））及び誘導灯（<u>「7号機設備」</u>、<u>「6,7号機共用, 6号機に設置」</u>、<u>「6,7号機共用, 5号機に設置」</u>（以下同じ。））を配置した安全避難通路を設置する。</p>	<p>1. 概要 本資料は、「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」（以下「技術基準規則」という。）第13条第1項第1号に基づき、その位置を明確かつ恒久的に表示することにより容易に識別できる安全避難通路（<u>「6号機設備」</u>、<u>「7号機設備, 6,7号機共用, 6号機に設置」</u>、<u>「7号機設備, 6,7号機共用, 5号機に設置」</u>（以下同じ。））を設置することについて説明するものである。</p> <p>2. 基本方針 災害時に、原子炉施設内従事者等が使用する部屋及び区画から屋外への安全な避難のため、その位置を明確かつ恒久的に表示することにより容易に識別できるよう非常灯（<u>「6号機設備」</u>、<u>「7号機設備, 6,7号機共用, 6号機に設置」</u>、<u>「7号機設備, 6,7号機共用, 5号機に設置」</u>（以下同じ。））及び誘導灯（<u>「6号機設備」</u>、<u>「7号機設備, 6,7号機共用, 6号機に設置」</u>、<u>「7号機設備, 6,7号機共用, 5号機に設置」</u>（以下同じ。））を配置した安全避難通路を設置する。</p>	<p>・表現上の差異（グラウンドルールに基づく共用設備の記載） 安全避難通路： 「6号機設備」は6号機原子炉建屋, 6号機タービン建屋, 6,7号機コントロール建屋, 6,7号機廃棄物処理建屋, 6,7号機サービス建屋, 5号機タービン建屋に設置。 「7号機設備, 6,7号機共用, 6号機に設置」は6,7号機コントロール建屋, 6,7号機廃棄物処理建屋, 6,7号機サービス建屋に設置しており7号機設工認にて申請済み。 「7号機設備, 6,7号機共用, 5号機に設置」は5号機原子炉建屋, 5号機タービン建屋, 5号機サービス建屋, 大湊側洗濯設備建屋に設置しており7号機設工認にて申請済み。</p> <p>・表現上の差異（グラウンドルールに基づく共用設備の記載） 非常灯： 「6号機設備」は6,7号機コントロール建屋に設置。 「7号機設備, 6,7号機共用, 6号機に設置」は6,7号機コントロール建屋, 6,7号機サービス建屋に設置しており7号機設工認にて申請済み。 「7号機設備, 6,7号機共用, 5号機に設置」は5号機原子炉建屋, 5号機サービス建屋, 大湊側洗濯設備建屋に設置しており7号機設工</p>

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
 黄色：前回提出時からの変更箇所


本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	<p>3. 施設の詳細設計方針</p> <p>発電用原子炉施設には、「建築基準法」(制定昭和25年5月24日法律第201号)及び「建築基準法施行令」(制定昭和25年11月16日政令第338号)に準拠し、安全避難通路を構成する避難階段及び地上へ通じる通路を設ける設計とする。</p> <p>安全避難通路には、建築基準法及び建築基準法施行令に準拠した、非常用の照明装置である非常灯並びに「消防法」(制定昭和23年7月24日法律第186号)及び「消防法施行令」(制定昭和36年3月25日政令第37号)に準拠した、誘導灯を設置する。</p> <p>非常灯は、中央制御室 (6,7号機共用) 等の原子炉施設内従事者等が常時滞在する居室、居室から地上へ通じる廊下及び階段その他の通路に設置する設計とし、誘導灯は、避難口である旨及び避難の方向を明示する設計とする。</p> <p>非常灯及び誘導灯の取付箇所を V-1-1-13「非常用照明に関する説明書」表2に示し、安全避難通路の設置状況を 第1-7-1図から第1-7-32図「安全避難通路を明示した図面」に記載する。</p>	<p>3. 施設の詳細設計方針</p> <p>発電用原子炉施設には、「建築基準法」(制定昭和25年5月24日法律第201号)及び「建築基準法施行令」(制定昭和25年11月16日政令第338号)に準拠し、安全避難通路を構成する避難階段及び地上へ通じる通路を設ける設計とする。</p> <p>安全避難通路には、建築基準法及び建築基準法施行令に準拠した、非常用の照明装置である非常灯並びに「消防法」(制定昭和23年7月24日法律第186号)及び「消防法施行令」(制定昭和36年3月25日政令第37号)に準拠した、誘導灯を設置する。</p> <p>非常灯は、中央制御室 (7号機設備, 6,7号機共用) 等の原子炉施設内従事者等が常時滞在する居室、居室から地上へ通じる廊下及び階段その他の通路に設置する設計とし、誘導灯は、避難口である旨及び避難の方向を明示する設計とする。</p> <p>非常灯及び誘導灯の取付箇所を VI-1-1-13「非常用照明に関する説明書」表2に示し、安全避難通路の設置状況を 第1-7-1図から第1-7-39図「安全避難通路を明示した図面」に記載する。</p>	<p>認にて申請済み。</p> <p>誘導灯： 「6号機設備」は6号機原子炉建屋，6号機タービン建屋，6,7号機コントロール建屋，6,7号機廃棄物処理建屋，6,7号機サービス建屋，5号機タービン建屋に設置。 「7号機設備，6,7号機共用，6号機に設置」は6,7号機コントロール建屋，6,7号機廃棄物処理建屋，6,7号機サービス建屋に設置しており7号機設工認にて申請済み。 「7号機設備，6,7号機共用，5号機に設置」は5号機原子炉建屋，5号機タービン建屋，5号機サービス建屋，大湊側洗濯設備建屋に設置しており7号機設工認にて申請済み。</p> <p>・表現上の差異（グランドルールに基づく共用設備の記載）</p> <p>・図書構成の差異</p>

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
：前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

島根原子力発電所 第2号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機	柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	備考
	<p>なお、非常灯及び誘導灯に関する事項のうち、技術基準規則第13条第1項第2号の要求である照明用の電源が喪失した場合においても機能を損なわない設計として、電源、照度等に関する事項について、V-1-1-13「非常用照明に関する説明書」に示す。</p>	<p>なお、非常灯及び誘導灯に関する事項のうち、技術基準規則第13条第1項第2号の要求である照明用の電源が喪失した場合においても機能を損なわない設計として、電源、照度等に関する事項について、VI-1-1-13「非常用照明に関する説明書」に示す。</p>	<p>・図書構成の差異</p>

青字：柏崎刈羽原子力発電所第7号機と柏崎刈羽原子力発電所第6号機との差異
：前回提出時からの変更箇所

本資料のうち枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。